



本日、皆さんが楽しみにしていた新しい大会「SAGA2024」全国障害者スポーツ大会は、高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、その幕を閉じようとしています。

佐賀の広い空のもと、開会式は雨模様でしたが、その後あたたかな日差しとまなざしを受けながら、交わり、ふれあい、笑い合った三日間。

一人一人の想いに寄り添って、自然と支えあうやさしさのカタチ、
「さがすたいる」の願いを込めたこの大会です。
「する」人も、「支える」人も、みんなが主役になって、まばゆく光を放ってくれました。

例えば、この大会に向けて、ゼロから団体を立ち上げた競技がありました。
参加したことがなかった競技でも練習を重ねて、ついにはメダルを獲得した人もいます。

大会は一つのゴール。それと同時に、次に向けたスタートラインでもあります。

一人一人の、これからの将来に向けた、大きなきっかけに、
この大会がなってほしいと佐賀県は考えます。

社会で輝く。地域で輝く。世界で輝く。
その時こそ、「SAGA2024」は、真のフィナーレを迎えることになるでしょう。

大会旗は滋賀県へと引き継がれ、
これから全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」に向けた日々が始まります。

次期全障スポの成功を祈念します。
そして、障がいのある方もそうでない方も、ともにわかりあい、交わることで、
皆がさらなる一歩を踏み出していける社会をつくっていきましょう。

みんなの気持ちが一つになると、何かが動き出します。そうなることを心から願って、
「SAGA2024」全国障害者スポーツ大会の大会会長としてのあいさつとします。

一人一人が輝く世界へ。

みんなで みんなで つくっていきましょう！

みんな、愛してるよ。

SAGA2024 RECORDS

発行／令和7年(2025)3月 SAGA2024実行委員会

無断複製、転載を禁じます